

第6節 インドネシア製品の比較優位性及び国際競争力

1. ASEAN 諸国の機械貿易の先進国市場における比較優位

ASEAN 4ヶ国及び韓国、台湾、中国の7ヶ国の先進国（OECD 諸国）との機械貿易について、OECD 統計を使用して、これらアジア各国の輸出における比較優位状況を品目別（SITC2 桁分類）にみてみた。

比較優位は貿易特化係数〔（OECD の輸入額 - OECD の輸出額）÷（OECD の輸入額 + OECD の輸出額）×100〕で比較する。貿易特化係数は100 からマイナス100 まであり、100 から零までの範囲にある場合は、当該商品は ASEAN 諸国が対 OECD 貿易において輸出国であることを意味し、零からマイナス100 までの場合は対 OECD 貿易の輸入国であることを示す。

なお、OECD 統計を使用しているため、図表の輸出入は OECD から見た場合の輸出入であり、OECD の輸入は途上国の輸出を意味する。

（1）東アジア諸国の先進国市場における機械貿易の競合状況

東アジア諸国の対先進国機械貿易を主要品目毎に比較し、その特徴を次に述べる（表8 - 6 - 1 参照）。

1）動力機械・部品

1993 年時点でネット輸出国となっている途上国はないが、中国は80年代以降輸出を大きく伸ばしおり、93年における輸出額は約5億米ドルと7ヶ国中最大になった。タイ、マレーシアの輸出は90年代に入って急増しているが、輸出額はまだ小さい。台湾、韓国の輸出力は低下し、90年代はマイナスの伸びとなった。インドネシア、フィリピンの輸出は、伸びは大きい金額は少ない。

2）産業機械・部品

1993 年時点では先進国の輸出力が大きく、輸出国である途上国はない。途上国では、台湾の輸出が圧倒的だが、輸出力はやや低下している（93年輸出額は8億6,500万米ドル）。タイの輸出は85年以降年平均60%台の伸びを続けているが輸出金額はまだ少ない。尤も輸出額は ASEAN 諸国の中では最大である。

中国の輸出の伸びも大きく、輸出額は韓国に次いで3位だが、輸入額は7ヶ国中最大で

ある。インドネシア、フィリピンの輸出はほとんど無い。

3) 金属加工機械・部品

台湾の輸出金額は 1993 年で 3 億 4,000 万米ドルと大きい。90 年代の伸びは韓国と同様にマイナスに転じた。輸入が拡大したことから輸出国から輸入国に転落している。中国の輸出の伸びも 90 年代に鈍化し、輸入が大幅に拡大した。これは外国資本の進出による設備投資の増大のためとみられる。

タイの輸出は 1985 年以降年平均 30% 台の伸びを続け、ASEAN 諸国の中では最大だが、輸入金額は輸出の 17 倍に達する。インドネシア、タイ、フィリピンの 3 ヶ国とも輸出力はまだない。

4) 一般機械・部品

台湾の輸出は 1993 年に 16 億 6,000 万米ドルと最大だが、伸び幅は縮小している。中国の輸出は 80 年代以降急増し、93 年には 9 億 6,000 万米ドルと韓国を抜き台湾に次ぐ地位を占めた。

ASEAN 諸国ではタイの輸出が最大だが輸入も最大である。インドネシア、フィリピンの輸出力はほとんどない。

5) 事務機械・部品

1993 年時点でインドネシア以外の 6 ヶ国はすべて輸出国である。台湾の輸出力が最大で 93 年の輸出額は 110 億 6,000 万米ドルに達している。OECD の輸入総額に占めるシェアも 8% と大きい。

ASEAN 諸国ではマレーシア、タイの輸出力が大きい。特にマレーシアは 90 年代に年平均 96% の伸びをみせた。インドネシアは 90 年代に年平均 3.6 倍の伸びをみせ、輸出国まで後一步の地位に達した。

6) 通信機械・部品

1993 年時点でインドネシアを含めての 7 ヶ国はすべて輸出国である。93 年にはマレーシアが韓国、台湾、中国を追い抜き最大の輸出国(輸出額 53 億米ドル)となった。90 年代には韓国、台湾の伸びはマイナスに転じたが、これは ASEAN 諸国への生産基地の移転が進んだためとみられる。

中国の輸出は伸長を続けており、93年には47億米ドルに達した。インドネシアは85年以降毎年倍以上の伸びを続け、93年には7億8000万米ドルに拡大した。

7) 電気機械・部品

韓国、台湾が双璧だが、93年にマレーシアがそれに匹敵する規模になった(93年の輸出額は韓国68億米ドル、台湾61億米ドル、マレーシア57億米ドル)。韓国の輸出は伸びているが、台湾は80年代の輸出国から90年代は輸入国に転じた。

インドネシアの輸出は90年代に年平均72%の大きな伸びをみせたが、輸出額はまだ小さい。93年の輸出国は中国、韓国、マレーシアの3ヶ国だけである。

8) 自動車・部品

93年では韓国を除き6ヶ国はすべて輸入国である。韓国は自国産業保護のため自動車の輸入制限を実施していたため、80年代から輸出国である。特に乗用車輸出が多い。台湾の輸出額は93年で23億米ドルと韓国を上回るが、部品輸出が多い。また輸入額は輸出額を上回る。

ASEAN諸国では乗用車「プロトン」の輸出を促進しているマレーシアの輸出が最大であり、93年の輸出は2億5,000万米ドルに達したが、輸入も11億5,000万米ドルと大きい。インドネシアの輸出は伸びているが、まだ輸入国である。

表 8 - 6 - 1 OECD の対東アジア機械貿易

コード	品目・相手国	1985			1990			1993			輸出 (百万ドル)	年平均 伸び率	輸入 (百万ドル)	年平均 伸び率	貿易特化 係数
		輸出 (百万ドル)	輸入 (百万ドル)	貿易特化 係数	輸出 (百万ドル)	年平均 伸び率	輸入 (百万ドル)	年平均 伸び率	貿易特化 係数						
SITC71	動力機械・部品	34,669.6	28,595.3	-9.6	70,956.7	15.4	58,071.1	15.2	-10.0	80,179.2	4.2	62,086.9	2.3	-12.7	
	インドネシア	227.7	1.9	-98.3	632.0	22.7	12.3	45.3	-96.2	979.7	15.7	22.4	22.1	-95.5	
	タイ	163.4	7.9	-90.8	1,046.2	45.0	95.7	64.7	-83.2	1,171.2	3.8	224.6	32.9	-67.8	
	マレーシア	183.6	35.2	-67.8	351.2	13.9	43.2	4.2	-78.1	963.5	40.0	172.0	58.5	-69.7	
	フィリピン	117.0	26.9	-62.6	357.4	25.0	7.9	-21.7	-95.7	1,074.4	44.3	23.2	43.2	-95.8	
	韓国	534.3	62.6	-79.0	1,199.9	17.6	310.1	37.7	-58.9	1,578.8	9.6	282.6	-3.0	-69.6	
	台湾	429.3	158.5	-46.1	1,104.4	20.8	310.6	14.4	-56.1	1,282.6	5.1	287.3	-2.6	-63.4	
	中国	385.0	9.6	-95.1	1,243.9	26.4	227.0	88.3	-69.1	1,745.7	12.0	489.7	29.2	-56.2	
SITC72	産業機械・部品	51,410.4	33,668.4	-20.9	108,557.8	16.1	75,172.1	17.4	-18.2	106,421.4	-0.7	60,636.5	-6.9	-27.4	
	インドネシア	397.7	0.4	-99.8	1,900.4	36.7	3.7	56.0	-99.6	1,679.7	-4.0	6.4	20.0	-99.2	
	タイ	262.3	0.8	-99.4	1,773.6	46.6	9.3	63.3	-99.0	2,032.5	4.6	43.7	67.5	-95.8	
	マレーシア	369.6	6.2	-96.7	1,037.9	22.9	16.6	21.8	-96.9	1,254.0	6.5	16.3	-0.6	-97.4	
	フィリピン	96.8	3.4	-93.2	362.0	30.2	4.3	4.8	-97.7	474.1	9.4	4.3	0.0	-98.2	
	韓国	980.1	37.3	-92.7	3,429.2	28.5	233.8	44.4	-87.2	3,469.3	0.4	307.1	9.5	-83.7	
	台湾	682.7	305.9	-38.1	1,917.0	22.9	742.5	19.4	-44.2	2,511.9	9.4	865.1	5.2	-48.8	
	中国	2,607.2	10.3	-99.2	2,037.4	-4.8	66.7	45.3	-93.7	4,949.8	34.4	171.1	36.9	-93.3	
SITC73	金属加工機・部品	12,403.1	9,024.3	-15.8	27,986.9	17.7	21,078.4	18.5	-14.1	23,479.4	-5.7	14,035.2	-12.7	-25.2	
	インドネシア	107.0	0.1	99.9	192.1	12.4	0.4	51.6	-99.6	208.3	2.7	1.2	44.2	-98.9	
	タイ	69.8	0.2	-99.4	357.9	38.7	14.2	134.6	-92.4	570.3	16.8	33.0	32.5	-89.1	
	マレーシア	56.8	0.2	-99.3	228.1	32.1	2.9	70.7	-97.5	342.6	14.5	3.4	5.4	-98.0	
	フィリピン	41.0	0.2	-99.0	102.3	20.1	1.8	55.2	-96.5	134.0	9.4	2.5	11.6	-96.3	
	韓国	409.6	25.0	-88.5	1,298.1	25.9	118.4	36.5	-83.3	1,093.9	-5.5	77.0	-13.4	-86.8	
	台湾	141.8	234.6	24.7	562.6	31.7	511.7	16.9	-4.7	971.7	20.0	342.5	-12.5	-47.9	
	中国	517.7	10.5	-96.0	547.6	1.1	101.5	57.4	-68.7	1,618.4	43.5	122.0	6.3	-86.0	
SITC74	一般機械・部品	49,948.4	35,288.2	-17.2	116,217.0	18.4	91,280.8	20.9	-12.0	125,419.6	2.6	86,727.2	-1.7	-18.2	
	インドネシア	485.6	0.7	-99.7	959.7	14.6	15.2	85.1	-96.9	1,489.8	15.8	29.2	24.3	-96.2	
	タイ	310.2	64.5	-65.6	1,406.9	35.3	290.6	35.1	-65.8	2,118.6	14.6	479.9	18.2	-63.1	
	マレーシア	312.6	12.8	-92.1	800.9	20.7	144.3	62.3	-69.5	1,567.2	25.1	320.3	30.4	-66.1	
	フィリピン	98.1	3.7	-92.7	416.5	33.5	11.4	25.2	-94.7	599.9	12.9	21.6	23.7	-93.0	
	韓国	1,065.9	127.1	-78.7	3,651.5	27.9	797.4	44.4	-64.2	3,591.2	-0.6	703.2	-4.1	-67.3	
	台湾	487.8	382.3	-12.1	2,247.5	35.7	1,492.4	31.3	-20.2	2,933.9	9.3	1,655.5	3.5	-27.9	
	中国	1,231.6	21.5	-96.6	1,491.7	3.9	532.7	90.0	-47.4	3,496.6	32.8	964.2	21.9	-56.8	

出所：OECD 統計

表 8 - 6 - 1 OECD の対東アジア機械貿易 (続き)

コード	品目・相手国	1985			1990			1993			輸出 (百万ドル)	年平均 伸び率	輸入 (百万ドル)	年平均 伸び率	貿易特化 係数
		輸出 (百万ドル)	輸入 (百万ドル)	貿易特化 係数	輸出 (百万ドル)	年平均 伸び率	輸入 (百万ドル)	年平均 伸び率	貿易特化 係数						
SITC75	事務機械・部品	48,469.7	47,793.2	-0.7	101,029.4	15.8	113,931.9	19.0	6.0	115,323.5	4.5	138,171.4	6.6	9.0	
	インドネシア	68.2	1.1	-96.8	162.1	18.9	2.1	13.8	-97.4	106.3	-13.1	99.2	261.5	-3.5	
	タイ	88.7	33.2	-45.5	326.5	29.8	853.0	91.4	44.6	592.1	21.9	2,223.8	37.6	57.9	
	マレーシア	95.0	50.8	-30.3	241.6	20.5	338.6	46.1	16.7	492.4	26.8	2,562.3	96.3	67.8	
	フィリピン	54.6	11.1	-66.2	175.8	26.3	219.4	81.6	11.0	241.9	11.2	526.9	33.9	37.1	
	韓国	464.9	579.2	10.9	1,282.7	22.5	2,465.5	33.6	31.6	1,212.1	-1.9	3,609.0	13.5	49.7	
	台湾	400.2	1,361.6	54.6	1,192.1	24.4	6,994.9	38.7	70.9	1,486.6	7.6	11,063.7	16.5	76.3	
	中国	423.4	4.9	-97.7	266.5	-8.8	276.4	124.0	1.8	572.6	29.0	1,810.5	87.1	51.9	
SITC76	通信機械・部品	39,778.4	36,873.3	-3.8	70,693.1	12.2	72,313.4	14.4	1.1	78,682.5	3.6	78,981.1	3.0	0.2	
	インドネシア	209.5	1.2	-98.9	349.1	10.8	53.7	113.9	-73.3	646.0	22.8	775.4	143.5	9.1	
	タイ	191.2	3.7	-96.2	635.4	27.1	833.1	195.5	13.5	836.6	9.6	1,646.2	25.5	32.6	
	マレーシア	353.0	384.7	4.3	573.1	10.2	2,315.1	43.2	60.3	1,354.6	33.2	5,306.6	31.9	59.3	
	フィリピン	87.5	22.5	-59.1	201.5	18.2	289.3	66.7	17.9	368.0	22.2	626.7	29.4	26.0	
	韓国	629.0	1,824.8	48.7	958.1	8.8	4,354.0	19.0	63.9	1,134.2	5.8	4,235.0	-0.9	57.8	
	台湾	436.9	2,313.2	68.2	1,542.3	28.7	2,975.1	5.2	31.7	1,404.1	-3.1	2,454.8	-6.2	27.2	
	中国	1,696.1	58.6	-93.3	1,196.3	-6.7	2,534.5	112.4	35.9	3,773.0	46.7	4,717.6	23.0	11.1	
SITC77	電気機械・部品	61,633.4	57,136.8	-3.8	145,808.6	18.8	136,537.6	19.0	-3.3	181,305.6	7.5	161,095.4	5.7	-5.9	
	インドネシア	349.4	41.4	-78.8	562.5	10.0	48.6	3.3	-84.1	1,241.6	30.2	248.8	72.3	-66.6	
	タイ	339.8	249.3	-15.4	1,793.1	39.5	1,070.4	33.8	-25.2	2,906.0	17.5	1,874.4	20.5	-21.6	
	マレーシア	1,351.7	1,714.4	11.8	3,295.3	19.5	3,136.5	12.8	-2.5	5,698.2	20.0	5,731.6	22.3	0.3	
	フィリピン	674.4	827.5	10.2	1,324.0	14.4	1,195.1	7.6	-5.1	2,379.3	21.6	2,154.6	21.7	-5.0	
	韓国	1,713.4	1,594.5	-3.6	4,605.8	21.9	4,618.8	23.7	0.1	6,257.6	10.8	6,774.8	13.6	4.0	
	台湾	1,473.8	2,015.7	15.5	4,878.6	27.0	4,704.2	18.5	-1.8	7,635.5	16.1	6,103.3	9.1	-11.2	
	中国	1,058.1	32.4	-94.1	1,108.1	0.7	1,217.7	106.5	4.7	1,979.9	21.3	3,712.8	45.0	30.4	
SITC78	自動車・部品	152,332.3	135,040.3	-6.0	288,862.6	13.6	259,644.5	14.0	-5.3	310,587.0	2.5	266,970.9	0.9	-7.6	
	インドネシア	358.2	0.3	-99.8	1,165.2	26.6	21.0	133.9	-96.5	992.8	-5.2	87.7	61.0	-83.8	
	タイ	388.9	3.1	-98.4	2,187.1	41.3	89.8	96.1	-92.1	3,214.9	13.7	184.5	27.1	-89.1	
	マレーシア	520.6	6.8	-97.4	1,148.2	17.1	102.4	72.0	-83.6	1,146.1	-0.1	245.0	33.7	-64.8	
	フィリピン	77.2	17.8	-62.5	550.8	48.1	29.7	10.8	-89.8	859.0	16.0	53.5	21.7	-88.3	
	韓国	301.2	570.7	30.9	949.2	25.8	1,900.8	27.2	33.4	1,054.4	3.6	2,277.4	6.2	36.7	
	台湾	510.4	572.6	5.7	2,754.0	40.1	1,900.5	27.1	-18.3	4,258.3	15.6	2,310.8	6.7	-29.6	
	中国	2,172.9	5.7	-99.5	624.6	-22.1	183.6	100.3	-54.6	4,267.3	89.8	492.3	38.9	-79.3	

出所：OECD 統計

(2) ASEAN 諸国の対先進国向け電気・電子製品貿易の競合状況

ASEAN 諸国が先進国向けに輸出を伸ばしている電気・電子製品(部品を除く)について、その競合状況を OECD 貿易統計 (SITC3 桁分類、REV.3) を使用して品目別に比較し、その特徴を述べる。

比較対象国は ASEAN4 ケ国と台湾、韓国の計 6 ケ国で、中国は含まない(図 8 - 6 - 1 参照)。

1) 事務機械

1980 年代には台湾、韓国の輸出力が大きかったが、89 年にマレーシア、タイが輸出を大きく伸ばし、90 年代に台湾、韓国の輸出力とマレーシア、タイの輸出力は逆転した。インドネシアも 91 年、92 年に輸出が伸びて、93 年には輸出国になった。

2) コンピュータ・関連機器

台湾、韓国が輸出国として先行しているが、ASEAN 諸国もインドネシアを除き 90 年代には輸出国に転じた。インドネシアは 92 年、93 年に輸出を伸ばして 93 年に輸出国の仲間入りを果たした。

3) テレビ・ラジオ

ラジオの場合、輸入国であったインドネシア、タイを含めて、ASEAN 諸国は 89 年にすべて輸出国になった。台湾、韓国は早くから輸出国であったが、90 年代に入って台湾は輸出力を落としている。

台湾の輸出力低下はテレビではもっと鮮明で、93 年では輸入国に転落している。これは台湾企業が ASEAN 諸国へ生産基地を移転させた結果とみられる。

インドネシアはラジオだけでなくテレビでも輸出力を高め、93 年ではトップクラスの輸出国となった。

4) テープレコーダ・ビデオ

台湾、韓国の輸出が先行している。ASEAN 諸国ではマレーシアが最も早く 88 年に輸出国になった。台湾はこの分野でも 90 年代に入って輸出力を低下させている。

タイは 89 年、フィリピンは 91 年、インドネシアは 92 年にそれぞれ輸出国に転じた。輸出は当該国への外資投資による部分が大きく、外資の進出時期の相違が現れている。

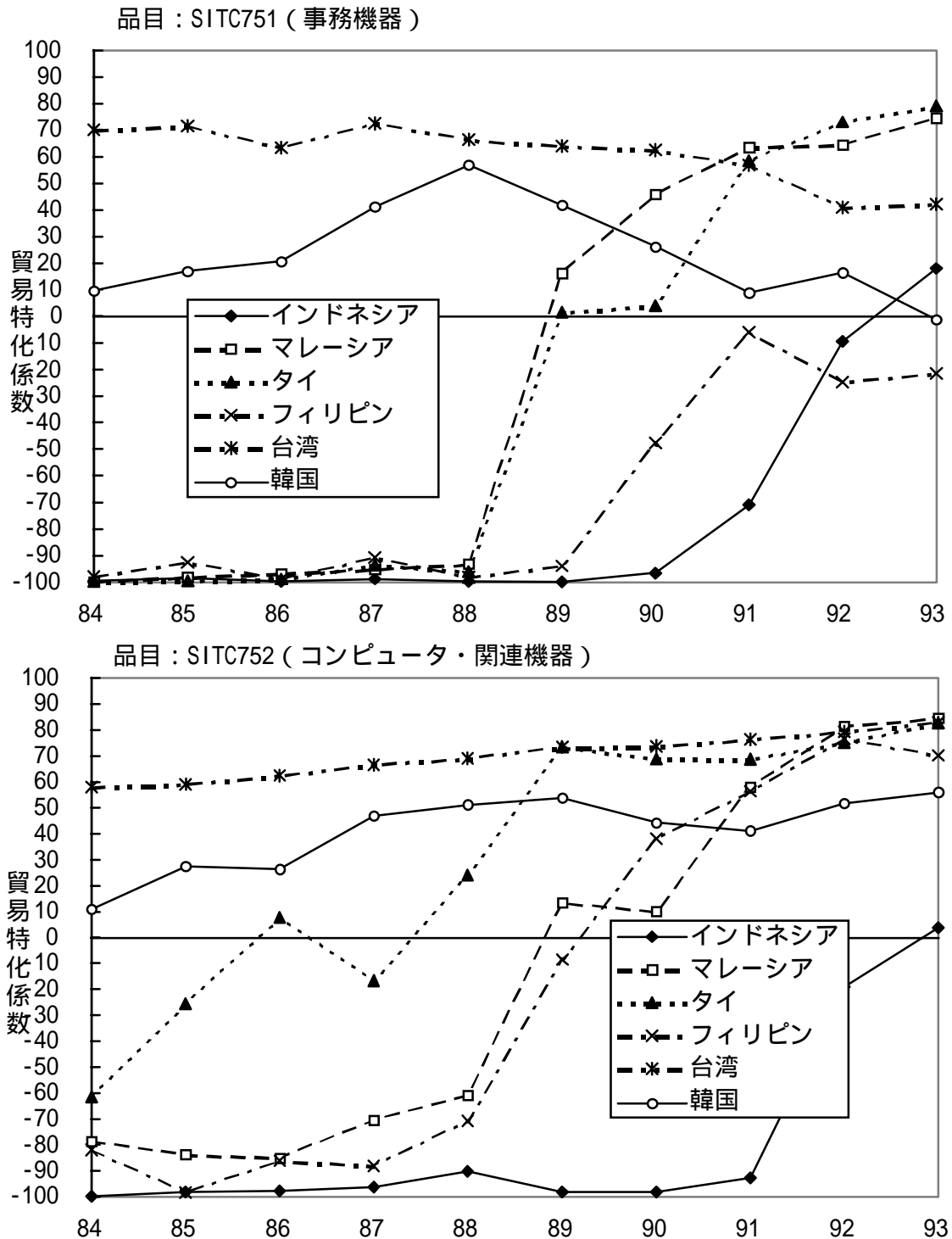
5) 通信機器

台湾が先行し、韓国が追いつける展開で輸出を伸ばしたが、輸出力は他の AV 機器と比べると小さい。ASEAN 諸国ではマレーシア、フィリピンが先行して 89 年に輸出国に転じたが、輸出入は均衡している。タイは 89 年から 91 年にかけて輸出を急増させた。インドネシアは 90 年代に輸出を伸ばしているが、輸出力はまだ弱く輸入国である。

6) 家庭用電気機器

韓国、台湾が先行しているが、90 年代に入って輸出力は低下傾向にある。ASEAN 諸国ではマレーシアが先行したが、その後輸出力を低下させ、代わって、タイが 88 年から 89 年にかけて輸出を急増させた。インドネシアの輸出は最も遅れていたが、93 年に輸出入が均衡するまでになった。

図 8-6-1 ASEAN諸国の先進国市場における電気・電子製品の競争力



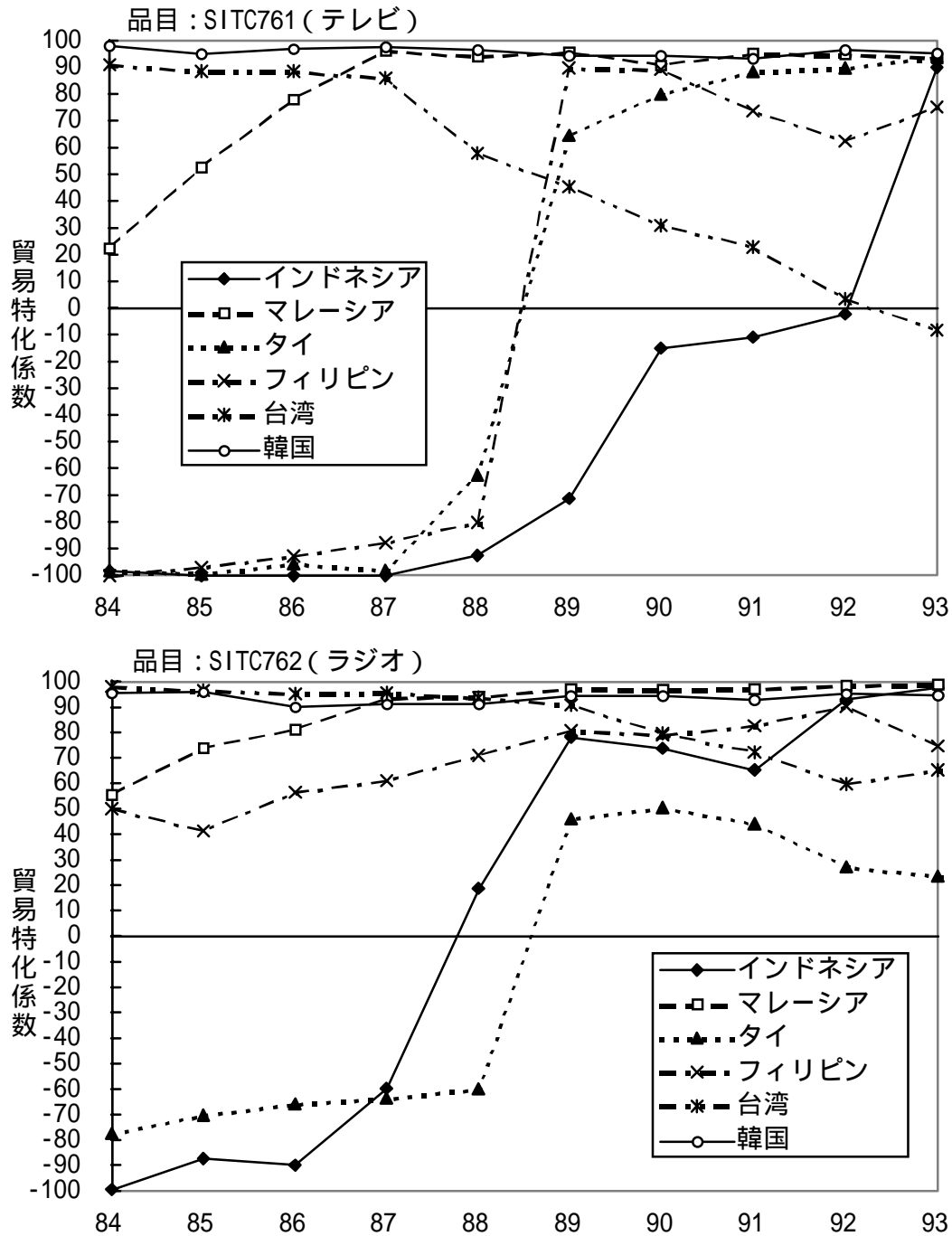
注：(1)品目は、SITC3桁分類による。

(2)貿易特化係数は次式による。

$$\left[\frac{\text{輸出} - \text{輸入}}{\text{輸入} + \text{輸出}} \right] \times 100$$

出所：貿易特化係数はOECD統計（CD-ROM版）に基づきITI（国際貿易投資研究所）が算出した。

図 8-6-1 ASEAN諸国の先進国市場における電気・電子製品の競争力（続き）



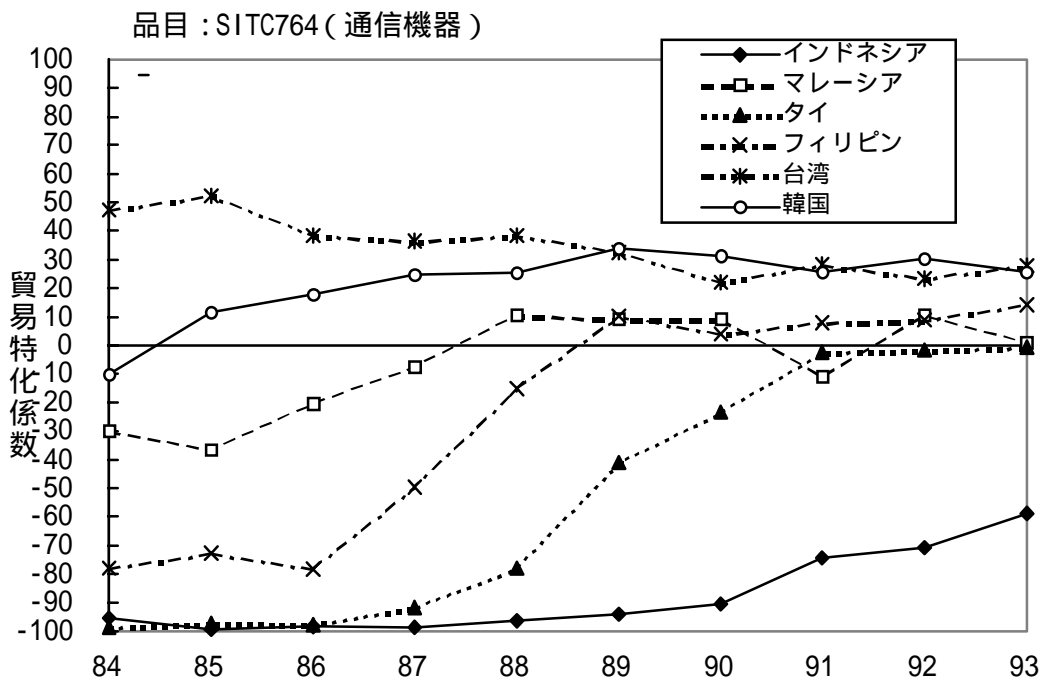
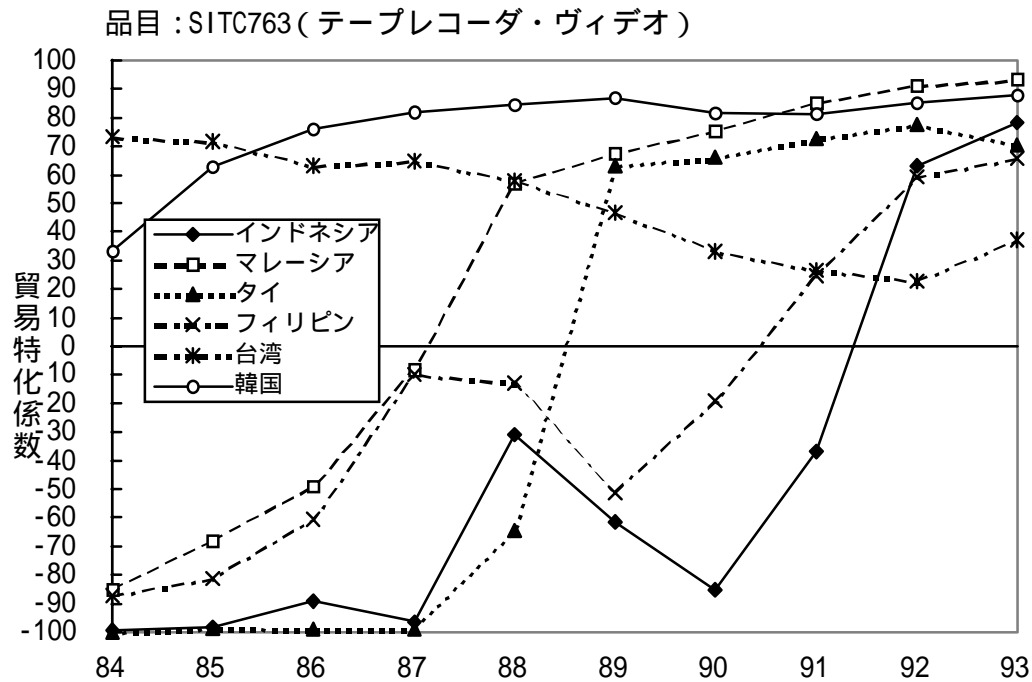
注： (1)品目は、SITC3 桁分類による。

(2)貿易特化係数は次式による。

$$\left[\frac{\text{輸出} - \text{輸入}}{\text{輸入} + \text{輸出}} \right] \times 100$$

出所： 貿易特化係数は OECD 統計 (CD-ROM 版) に基づき ITI (国際貿易投資研究所) が算出した。

図 8-6-1 ASEAN諸国の先進国市場における電気・電子製品の競争力（続き）



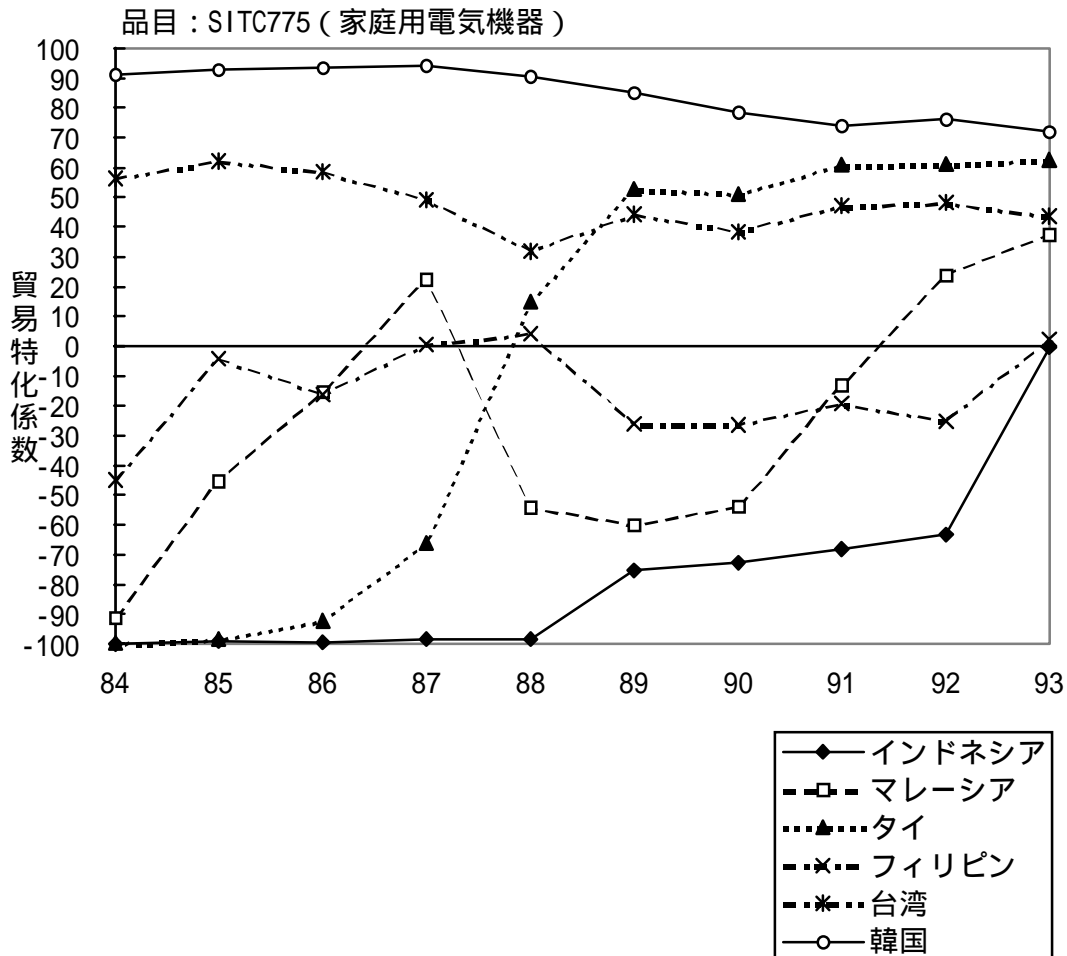
注：(1)品目は、SITC3 桁分類による。

(2)貿易特化係数は次式による。

$$\left[\frac{\text{輸出} - \text{輸入}}{\text{輸入} + \text{輸出}} \right] \times 100$$

出所：貿易特化係数は OECD 統計（CD-ROM 版）に基づき ITI（国際貿易投資研究所）が算出した。

図 8-6-1 ASEAN諸国の先進国市場における電気・電子製品の競争力（続き）



注： (1)品目は、SITC3桁分類による。

(2)貿易特化係数は次式による。

$$\left[\frac{\text{輸出} - \text{輸入}}{\text{輸入} + \text{輸出}} \right] \times 100$$

出所： 貿易特化係数はOECD統計（CD-ROM版）に基づきITI（国際貿易投資研究所）が算出した。

（3）ASEAN 諸国の対先進国向け機械部品輸出

一般的に、途上国は先進国から組み立て用の部品を輸入して完成品を輸出しているため、部品そのものの先進国向け輸出はあまり大きくない。普通は途上国の部品輸出は途上国向けが多い。しかし、90年代に入って、部品を途上国から輸入して先進国で組み立てるケースがみられるようになり、少しずつ部品輸出が増加し始めている。もっとも、半導体などのように、多国籍企業が途上国で組み立てた部品を輸出する目的で投資するケースもあり、部品によりその性格が異なる。

主な機械部品について、ASEAN 諸国の先進国向け輸出の特徴を次に述べる（図 8 - 6

- 2 ~ 4 参照)。

1) 自動車部品(エンジンは含まない)

台湾、韓国、フィリピンは輸出で先行しているが、まだ輸入の方が多い。他の国は完全な輸入国である。フィリピンの輸出は政情不安もあって 1980 年代後半に落ち込み、90 年代に入って盛り返しつつある。

インドネシアは輸入国であるが、輸出は 92 年、93 年に増加した。マレーシア、タイも輸入の割合が圧倒的に多い。

2) 電気・電子部品

i. 電気部品(スイッチ、プリント基板、抵抗器など)

台湾の輸出入は均衡している。韓国は輸出も多いが、輸入のほうが多い。ASEAN 諸国 4 ヶ国共輸入国だが、マレーシア、タイの輸出が多く、フィリピン、インドネシアは少ない。インドネシアは最も輸入が多いが、輸出も 92 年、93 年にやや増加した。

ii. 電子部品(ブラウン管、半導体など)

1993 年時点では、韓国、マレーシア、フィリピンは輸出国で、インドネシア、タイ、台湾は輸入国である。輸出国、輸入国といってもその割合は他の部品と比べると小さい。インドネシア、タイは 1980 年代後半に輸出国から輸入国に転じた。

iii. 事務機械・コンピュータ部品及び付属品

台湾の輸出力が突出している。韓国は 92 年、93 年に輸出国に転じた。マレーシアは 86 年に輸出国から輸入国に転じたが、90 年代に入って再び輸出国になった。タイも 90 年代に輸出国に転じたが、両国とも輸入も多い。93 年時点ではフィリピン、インドネシアが輸入国だが、インドネシアの輸入の方が大きい。インドネシアは 91 年から 93 年まで輸出を伸ばしている。

3) 機械部品

i. 内燃ピストンエンジン

台湾、韓国も輸入国で、輸出力はあまりない。ASEAN 諸国は 4 ヶ国とも輸入国だ

が、タイの輸出力がやや大きい。

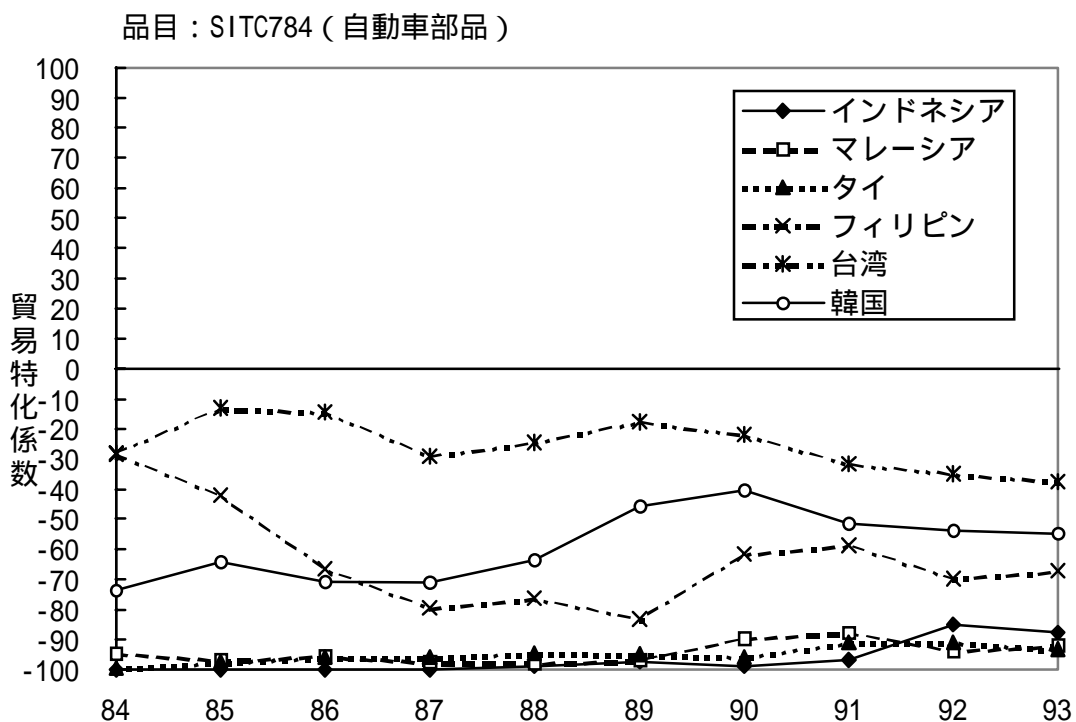
ii.ポンプ・コンプレッサー

台湾は89年に輸出国から輸入国に転じた。韓国も輸出力はあまり無い。ASEAN 諸国は輸入国だが、タイ、マレーシアは比較的輸出力がある。フィリピン、インドネシアは完全な輸入国である。

iii.非電気機械部品(コック、バルブ、金型など)

台湾、韓国も輸入国であるが、台湾の輸出力は大きい。ASEAN 諸国ではタイの輸出力が大きい。フィリピン、マレーシア、インドネシアは完全な輸入国。

図 8-6-2 ASEAN諸国の先進国市場における自動車部品の競争力



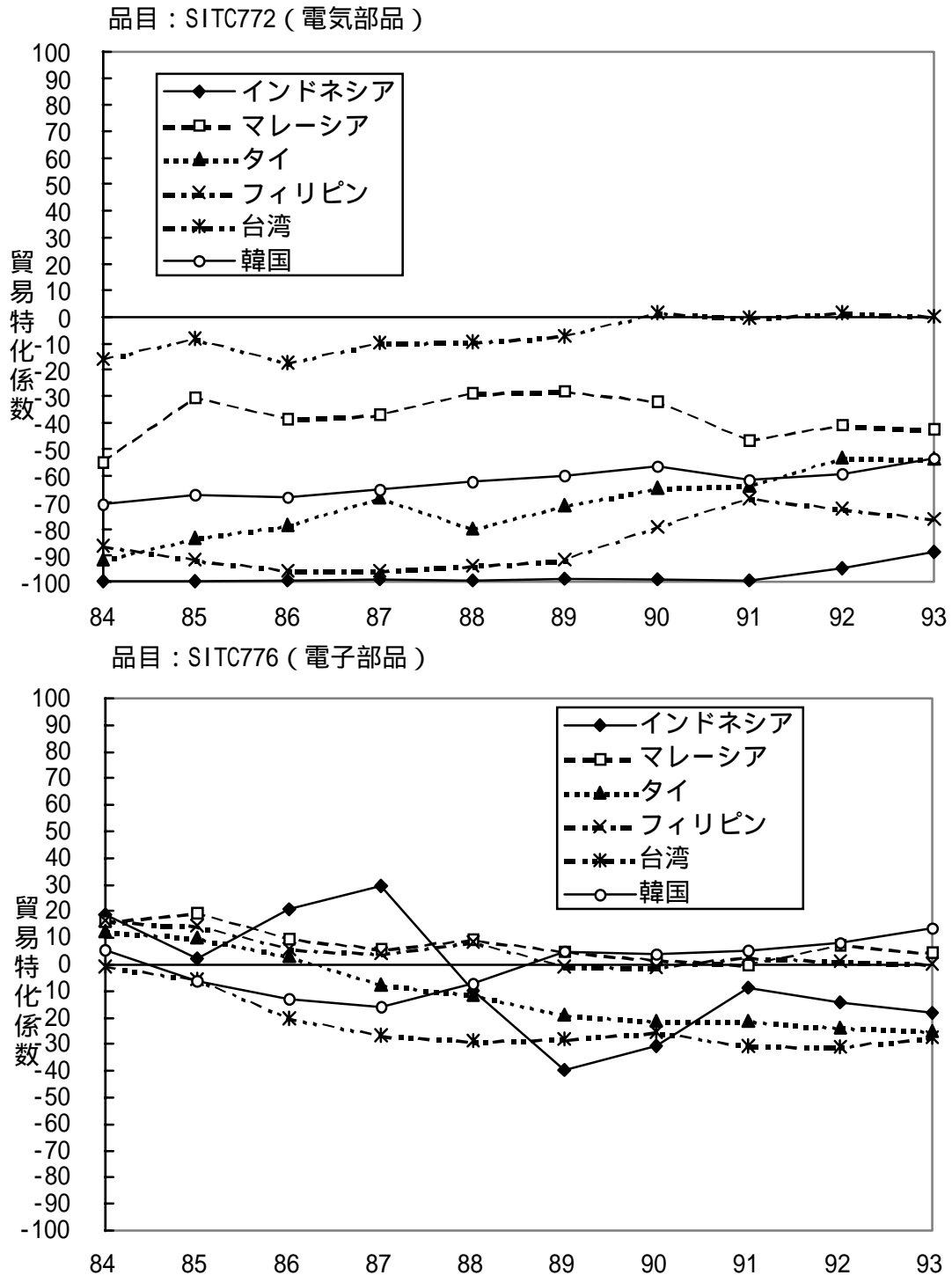
注： (1)品目は、SITC3桁分類による。

(2)貿易特化係数は次式による。

$$[(\text{輸出} - \text{輸入}) \div (\text{輸入} + \text{輸出})] \times 100$$

出所：貿易特化係数はOECD統計（CD-ROM版）に基づきITI（国際貿易投資研究所）が算出した。

図 8-6-3 ASEAN諸国の先進国市場における電気・電子部品の競争力



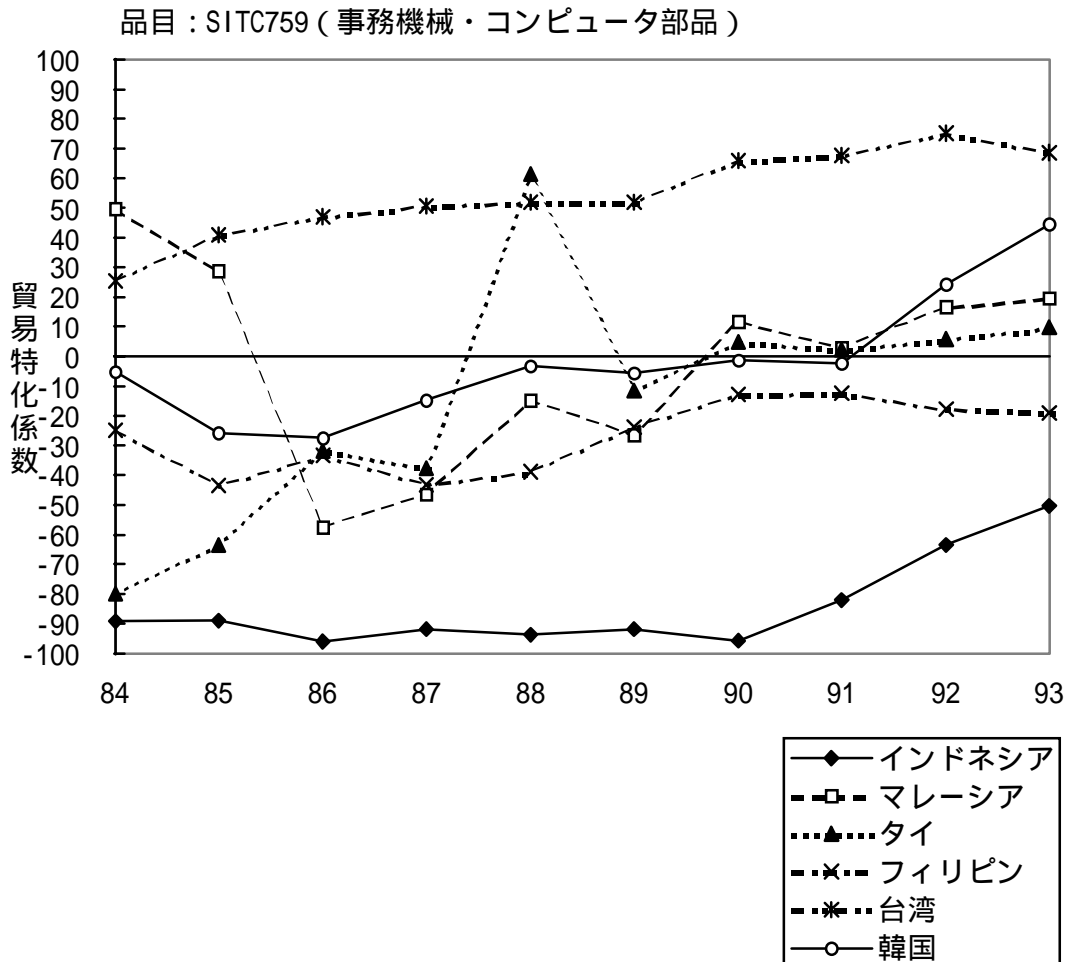
注：(1)品目は、SITC3桁分類による。

(2)貿易特化係数は次式による。

$$\left[\frac{\text{輸出} - \text{輸入}}{\text{輸入} + \text{輸出}} \right] \times 100$$

出所：貿易特化係数はOECD統計（CD-ROM版）に基づきITI（国際貿易投資研究所）が算出した。

図 8-6-3 ASEAN諸国の先進国市場における電気・電子部品の競争力（続き）



注： (1)品目は、SITC3桁分類による。

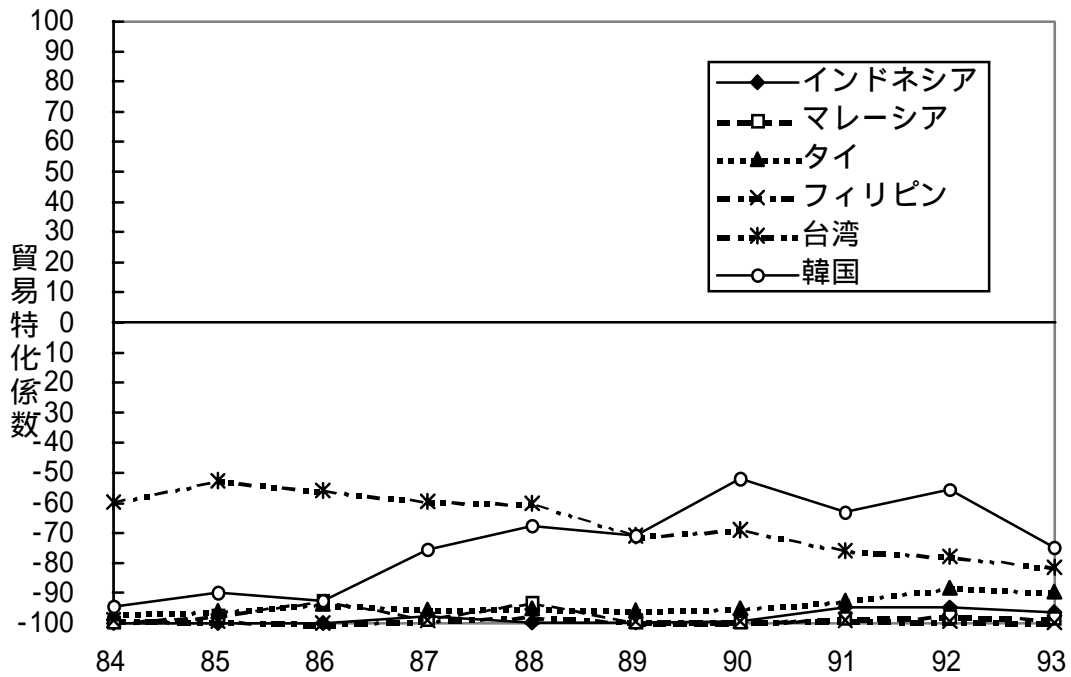
(2)貿易特化係数は次式による。

$$\left[\frac{\text{輸出} - \text{輸入}}{\text{輸入} + \text{輸出}} \right] \times 100$$

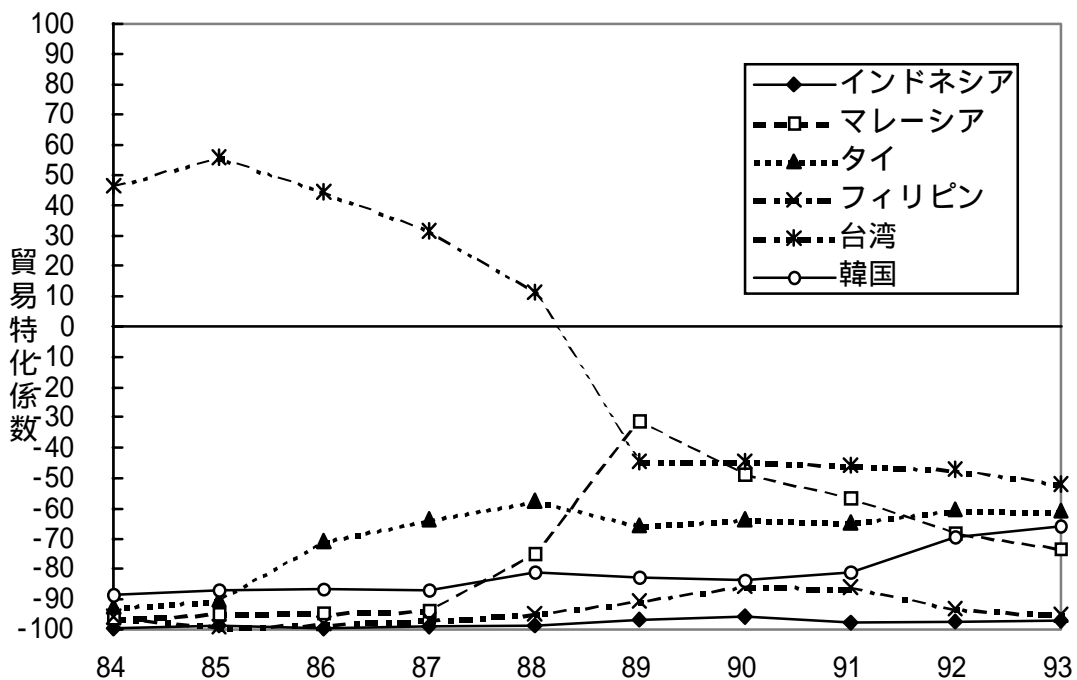
出所： 貿易特化係数はOECD統計（CD-ROM版）に基づきITI（国際貿易投資研究所）が算出した。

図 8-6-4 ASEAN諸国の先進国市場における機械部品の競争力

品目：SITC713（内燃ピストンエンジン）



品目：SITC743（ポンプ・コンプレッサー）



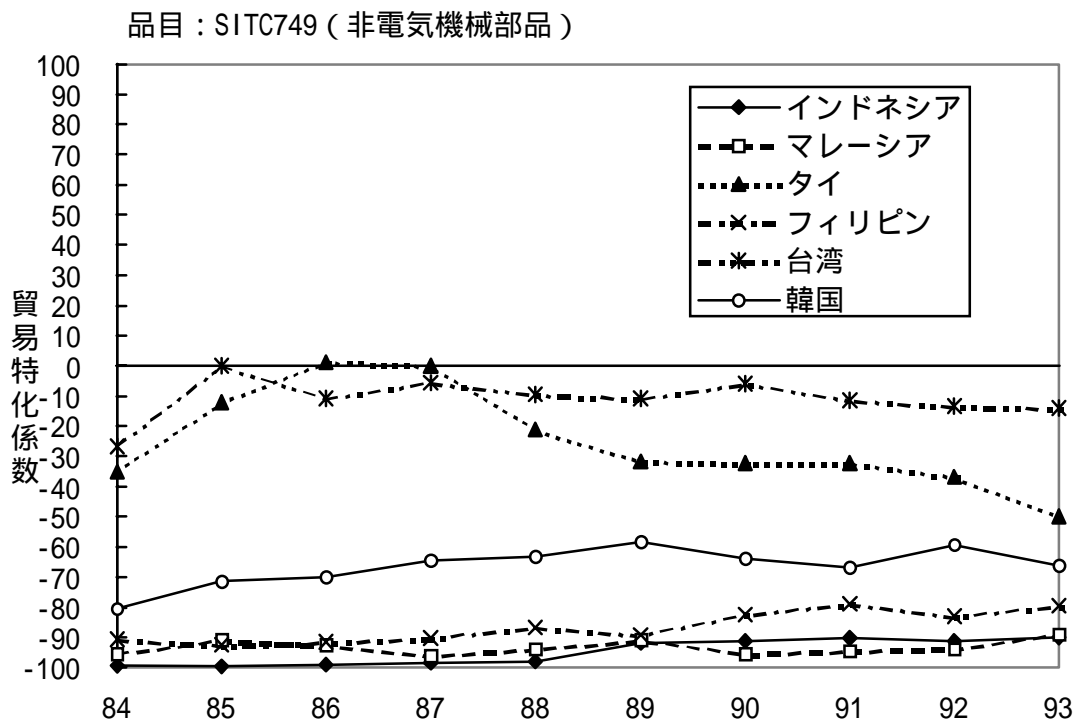
注：(1)品目は、SITC3桁分類による。

(2)貿易特化係数は次式による。

$$\left[\frac{\text{輸出} - \text{輸入}}{\text{輸入} + \text{輸出}} \right] \times 100$$

出所：貿易特化係数はOECD統計（CD-ROM版）に基づきITI（国際貿易投資研究所）が算出した。

図 8-6-4 ASEAN諸国の先進国市場における機械部品の競争力（続き）



注： (1)品目は、SITC3桁分類による。

(2)貿易特化係数は次式による。

$$\left[\frac{\text{輸出} - \text{輸入}}{\text{輸入} + \text{輸出}} \right] \times 100$$

出所：貿易特化係数はOECD統計（CD-ROM版）に基づきITI（国際貿易投資研究所）が算出した。

